

応援団第二章の展開 ～応援の力を結集し、地域課題に対応～

本道に想いを寄せる多くの方々の応援（エール）を見える化し、共に未来をつくっていくとの思いで立ち上げた「ほっかいどう応援団会議」については、民間企業や地域おこし協力隊の方々との連携を強化するなどこれまでの取組を充実させ、さらに発展させていきます。

■ 地域課題への対応強化

地域課題への対応強化に向けて、地域おこし協力隊の支援体制を構築します。

（政策展開の方向性）

道内各地で地域を支える活動を展開し、本道の強力な応援団である地域おこし協力隊の相談サポート窓口を設置し、全道や振興局のネットワークを構築するなど市町村と連携しながら支援体制を強化します。また、インターン制度を活用するとともに、任期後の道内への定着を促進します。

■ ネットワークのさらなる強化・拡大

多様な連携強化を図り、バーチャルイベントなど交流拡大の場づくりなどに取り組みます。

（政策展開の方向性）

大学をはじめ多様な主体との連携強化を図るとともに、市町村や企業との日常的な交流の場づくりに取り組みます。また、バーチャルイベントなどによる新たな交流の機会を創出するとともに、どさんこプラザでのプロモーションやほっかいどう応援セミナーなどにより、道ファン子など関係人口の拡大に取り組むほか、移住しやすい環境づくりや北海道型ワーケーションを推進します。

■ 応援事業の充実強化

ふるさと納税の提案力や営業力の強化を図り、積極的なプロモーションを実施するなど応援事業の充実強化に取り組みます。

（政策展開の方向性）

官民連携を推進する体制を強化し、寄附対象事業の提案力や企業への営業力の強化を図るとともに、応援セミナーの充実などによる積極的なプロモーションを展開します。また、企業との共同事業のさらなる拡大や寄附事業の見える化、人材派遣型の一層の活用に取り組みます。

地域と考え行動する ～179の声を聞き、連携して行動～

北海道全体の価値を高めていくため、179通りの個性を有する市町村の多様な魅力をさらに磨き上げながら、SDGsの理念も踏まえ、地域課題の解決などに向けて取り組みます。地域の声を聞き、ともに考え、行動するとともに、前例にとらわれずチャレンジする道庁づくりを進めます。

■ 179市町村の魅力の磨き上げや課題解決の支援

市町村とスクラムを組んで地域が連携した取組を支援するとともに、地域サービスの充実などに取り組みます。

（政策展開の方向性）

179市町村の個性あふれる魅力は本道の強みとなっています。豊かな資源を磨き上げ、スクラムを組んで課題に向き合い、ともに前に進んでいきます。持続可能な地域社会に向けて、地域が連携して取り組むプロジェクトを振興局が中心となって支援し、地域資源を活かしたまちづくりやデジタル化の促進、除排雪や買い物弱者の方などへの生活サービスの充実、国際交流の促進、さらには、離島など厳しい状況にある地域の振興を図ります。空き店舗や空き家を活用した起業や移住支援など商店街の振興に取り組みます。

■ 179市町村との対話とサポートの強化

徹底した現場主義を貫きながら、個性あふれる地域づくりなど市町村の支援を強化します。

（政策展開の方向性）

多くの方々との対話を通じて地域の声を道政に活かす現場主義を徹底し、なおみちカフェやスクラムトークを充実するなど179市町村を積極的に訪問するとともに、デジタルを活用した「動く知事室」を実践します。また、振興局独自の事業を拡充するなど道庁のノウハウと人材を活用して個性あふれる地域づくりを支援します。市町村の情報発信をサポートするほか、自然災害や感染症など地域が直面する危機管理事案に機動的に対応する体制を強化します。一次産業の人手不足などの地域課題に取り組む道職員の副業を全道に広げていきます。

地域と考え行動する ～179の声を聞き、連携して行動～

■ チャレンジする道庁づくり

職員の政策提案力や実行力を高め、直面する道政課題の解決に全力で取り組みます。

（政策展開の方向性）

道民の皆様の理解と協力を得て政策を強力に推進し、政策提案力や実行力を高めていくため、広報機能を強化するとともに、道庁版スタートアップの推進や職員研修の充実、ナッジの活用、積極的な民間登用や若手職員の活躍支援など組織の活性化に取り組みます。また、スマート道庁の強化やデジタル人材を育成するとともに、庁舎の再エネ設備や次世代自動車の導入の推進などの取組を加速し、ファシリティマネジメントの強化による道有資産の有効活用やコストの削減などに取り組みます。

（参考）ナッジ：行動科学の知見を活用することにより、人々が自分自身にとってより良い選択を自発的に取れるように手助けする政策手法